

おわりに

今回活動事例を紹介した各団体とも、リーダーを中心に団体のメンバーや参加者が協力し、様々な工夫やアイデアを出し合いながら、活動に取り組んでいること、また、活動が義務的なものではなく、楽しみを感じる取組となっていることなどが団体の活動の活性化につながっていることが把握できました。ご協力いただきました各団体の皆様に御礼申し上げます。

今回紹介した事例は、多くの森林ボランティア団体が抱えている「新規会員（参加者）の確保」、「継続的な活動」、「後継者育成」、「企業や自治体、他団体との連携方法」という4つの課題に対する対策を考える上で参考となる事例ではないかと思われます。もっとも、緑の募金で活動いただいている各団体の皆様は、活動の目的やこれまでの経緯、構成メンバー等がそれぞれ異なることから、今回の事例がすぐに諸課題の解決に直結するものではないかもしれませんが、参加者の裾野を拓げ、若手を活かす組織をつくり地域の企業や自治体、関係団体と

繋がるスキームをつくる今後の団体の活動を展開していく上で大変参考になるのではないかと思います。

また、座談会においてもいろいろなご意見をいただきました。今日の我が国の森林・林業や農山村が抱える課題が背景にある中で、「緑の募金」として何ができるのか、また、何が足りないのか、そして、今後何をやるべきなのかということについて、座談会の意見も踏まえてさらに検討して参りたいと思います。

公益社団法人国土緑化推進機構では、これからもより多くの森林ボランティア団体の皆様とともに、国内、海外の緑化の推進に努めてまいりたいと考えております。「緑の募金」活動に対して引き続き、森林ボランティア団体並びに関係者の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

森林・里山と人がつながる社会をめざして
次世代につなぐプロジェクト運営と組織づくり

発行日：平成 29 年 7 月

発行者：公益社団法人 国土緑化推進機構

102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 5 階

TEL：03-3262-8437 FAX：03-3264-3974

編集・取材：株式会社エス.ピー.ファーム